

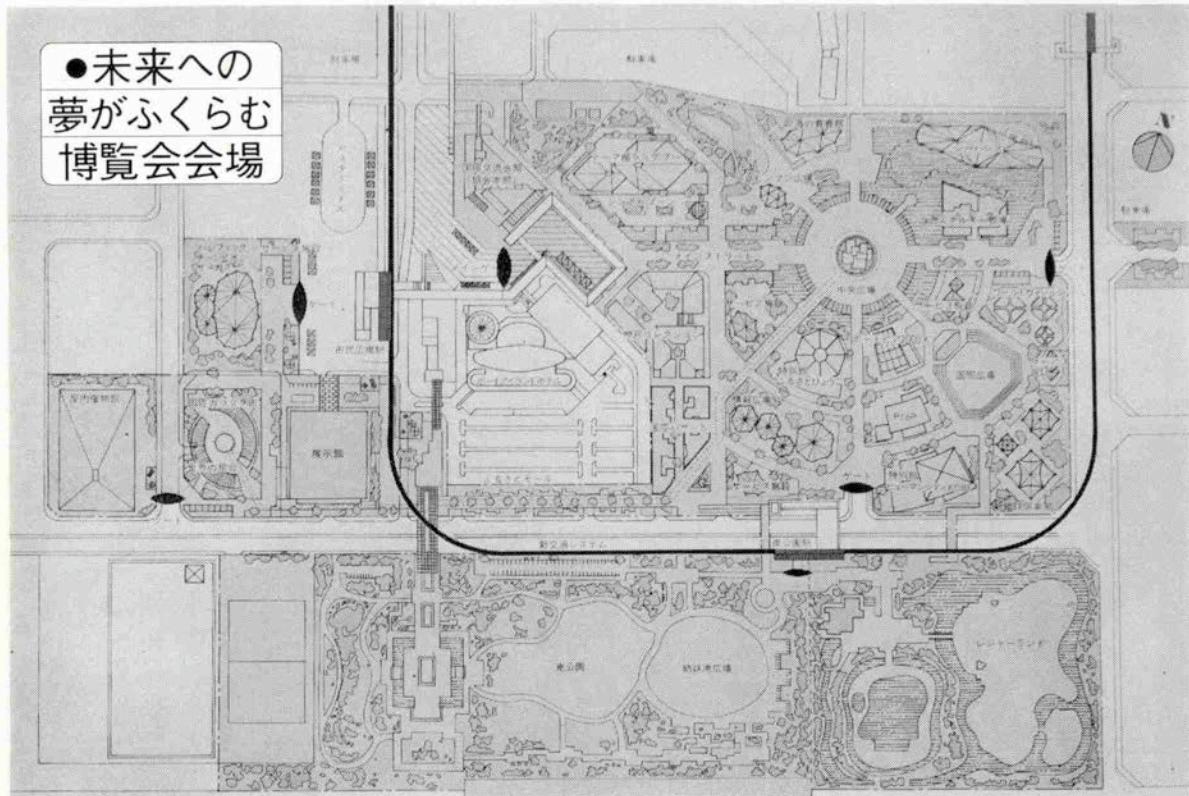
〈特集〉

ポートピア'81へのアプローチ

元永 定正 / 鳴田 勝次 / 松谷 富士男 / 井植 貞雄
浜野 安宏 / 植田 紳爾 / 岡田 美代 / 小林 陸一郎 / 安藤 忠雄



PORTOPIA '81





元永 定正

<画家>

みんなの広場を

仕事の関係上どうしても視覚的なものに考えがゆくのだが、そんなものを具体的に書いてみると、まず手製のたこあげコンクールというのはどうだろう。既成のものはすべて参加出来ない。斬新なアイデアでつくられたものばかり集めます。不思議な方たち、面白い方たち、強烈な色彩、変った飛びかたをするものやすごく大きいものやミクロのミニだこなど何もさえぎるものもない広い海原に向って六甲山を背景に空中展覧会ともいえる壮大な催しを想像している。空もよいのだが海上都市にふさわしい海上展覧会は是非開きたい。私は具体グループの頃からそれを考えていたのだが、とうとう実現しなかった。波にうまく乗ってただよう作品や、波にさからつて存在を主張しているものなどもよいだろう。沖へ流れ出ないよう重りをつけることやロープでつなぎとめる工夫も必要だろうが、潮流に流され太平洋をどこまでもといったアイデアも出るだろう。公募形式か招待作家だけにするのかという問題も起つてくる。

この海上や空中たこあけの他に誰れでも何でも自由に出品出来る神戸アンデパンダン展も企画すべきでしよう。アマにもプロにもそれぞれ立場があるのだけれど、どんな変なものでも、どんなつまらないものでも出品可能という自由さは大切だ。野心があつてもなかつても、気どりがあつてもなかつても、お金があつてもなかつても、これこそ参加することに意義がある。収容人員二〇〇人ぐらいいの小劇場で新しい意味を持ったパーソナリティを行います。これは公募がよいでしよう。形式はどんなものでもよいのだが、原則として一〇分から三〇分ぐらいの短かいものがよいと思います。観客と出演者や作品が一体となるものなどもあるだろうし、愉快なハプニングも生れてくれば成功です。この小劇場はポートピア'81が終つてもそのまま残して新しい発表の場のメカになれば大変よろしい。

みんなが自由に集まれる皆んなの広場がほしい。その広場は大きな催しが出来るのだけれど、夜店、昼店、バナナのたたき売り、ガマの油売り、のぞきからくりなどの昔なつかし店なども時々出てくるのもよいだろう。私たちは日常生活とは違った経験をして見たいといった潜在意識が意外と強いようと思うのだけれど、そこで仮装の日というのを設けてみたら面白いのではないのでしょうか。たとえば毎日曜日などで、今日は乞食になって会場でローランドから世の中を見てやろうと考えてみたり、粹な船乗りさんになって女の子と遊んで見るとか楽しい時間が持てるというのだ。これは自分を偽るというのではなく、あくまで仮装である。むしろ仮装の中でこそ自分でも気がつかなかつた別の自分の真実がわかつて来るということもあるだろう。みんなの広場に集つて自分の中になつてゐる問題をいろんな人に話して見たいといった欲望を満足さすために議論の日をつくります。政治問題やら、思想、哲学、宗教、猫ずきか犬ずきかの話までおもいきつて議論する。ただし昂奮のあまりの暴力さたは絶対さけるべきで、マナーの悪い人たちは監視員によって退場させられます。



嶋田 勝次

<神戸大学工学部助教授>

現実の課題に重ねよう

神戸で博覧会が開かれるというニュースを聞いたとたん、私が大学に入学した昭和二十五年春に開催された神戸博を思い出した。そして当時の資料を探していたら、ビラなどが出て来た。前売券百円也（当時は市電二円、葉書二円）、三月十五日から六月十五日まで、王子公園と湊川公園の両会場、兵庫県と神戸市の主催であった。ちょうど同じ時期に朝日新聞社主催で、阪急西宮球場周辺でアメリカ博が開かれ、ちょっとした博覧会ブームであった。神戸大学建築学科の入学ガイダンスで、当時の野地修左教授（現名譽教授）が「建築科に入ったのだから、神戸博の建築を見ておくように」といわれたことを思い出す。とにかくそこで腹を減らしながらひとおり見学して、変った建物を資材のない中でいろいろ工夫していたことがかすかに記憶の隅に残っている。関西の建築界の方々と共に丹下健三や河合正一という東京勢がその中に並んでいて、仮設物ながらそれぞれ新しいデザインを模索していたようであった。

今日我々は日本万国博や沖縄海洋博を経験し、博覧会慣れしている。未来の生活、未來の技術、未来のデザイン等について、いろいろな展示を通して、多様な知識を得ている。この時期に「ポートピア'81」を開こうというのだから、大変などまどいやむつかしさを思ってしまう。何かこの博覧会に対する提言とか提案をとことんまで困惑この上ない。そこで抽象的ながら若干の意見を提出することでこの責をふせぎたい。まずその内容が、①見本市的でないこと、②マンガチックでないこと、③にせものでないことである。すなわち①何度来ても楽しいこと、②主体的行動があること、③仮設的でないほんものであることを期待したい。

現在の我々の大きな関心は、住宅問題であり、教育問題であり、高齢化社会の問題である。この博覧会のメインテーマに、この今日の問題をどう組み込むかが大切ではないか。そのため未来の住宅への指向を通じて文化都市をつくることがあげられる。それには豊かな空間をもつ住宅の提示であり、実際の家族がそこに何日か何ヶ月か住むことである。更に高齢化社会を具体的に地獄絵と極楽絵にして考える素材を打ち出すべきではないか。また教育は受験を通じて一元化されるのではなく、海を通じての国際的方向やら、西欧文化と対比されるアジア文化の中に、コンピューターを通じてのシステム化の方向でない手づくりの教育文化も示されてよからう。そこには年寄りの経験や生活の智慧を目にするものとして実感させてほしい。そんな抽象的なことをどう展示するのか、どうアッピールするのかと問いかれますが、「創造」の苦しみは、ハレの場であるだけに、一層しんどい。しかしその裏のケをどう組み立てるのかを考えることから出発すれば、何かちがつたアプローチが生まれないかと思う。そんなことは別に、ポートアイランドにずっと残つて、シンボルとして親しまれるものとの際定着させてほしい。絵として、計画案として、ものとして提示出来ないものからしさが、この文から汲みとつてもらえば、この時点では幸いとしたい。



松谷富士男

<婦人服飾ベニヤ社長>

未来への展開を

そういう意味から、ポートピア'81では、打上げ花火や線香花火のようなものでなく永続性のある催しや展示などを考えなければならないと思います。

一般にはポートアイランドがいわゆる工業地域という感覚を持たれている傾向があります。だから、例えばカンヌの映画祭であるとか、国際的な文化の象徴のようなものを開催する必要があります。しかも、そういうインターナショナルな行事を、一年に一回、あるいは二年に一回というように、定期的に開催することです。それによって、ポートアイランドの名を世界的に高めることもでき、日本全国の人々も一度はポートアイランドに行つてみようということになるでしょう。このように博覧会の会期中だけのことではなく、長期的に考えないと、あとが淋しくなります。

永続性といえば、神戸は世界の味覚が楽しめる街ですが、この博覧会場でも世界各国の料理が味わえると楽しいものになるでしょう。一つの建物全体を一つの国にします。建物自体をその国の建築様式を用い、そしてそこではその国の料理が食べられるようになります。そんな建物を、国別にして、いっぱい建てるのです。そうすれば人が集まつてくるでしょうし、博覧会終了後もそのまま残して営業していくという永続性もでてくるでしょう。

つまり基本的には博覧会だけのことではなく、ポートアイランドの長期的な存在という見地から考えなくてはなりません。

そのひとつとして、ポートアイランドが瀬戸内海のレジャーベース点になれば素晴らしいことだと思います。ポートアイランドが行きどまりの存在ではなく、ここから発展していくという考え方をもたなければなりません。そのためには兵庫県や神戸市のレベルに限らず、他府県からの協力も必要です。そして他府県の人々にもその恩恵を受ける存在ではなくなりません。(つまりポートアイランドの存在価値、利用価値を高めていく行動をおしすすめなくてはなりません)。

将来へつながっていくような展開をしていく構想をもつことから、ポートピア'81の成功、ポートアイランドの存在価値が生まれてくると思います。

ポートアイランドという巨大な人工島は画期的なものです。この完成を記念して二年後に開催されるポートピア'81では、ポートアイランドの存在価値をはつきりする必要があります。埋め立てることによって少しでも土地を作ったということもあるでしょう。狭い日本、土地が増えればそれだけでも意義があるといわれればそれでもですが、どうしてポートアイランドを作ったのか、そしてどのようにこの土地を生かしていくのか、そのあたりの価値観の問題をはつきりさせる必要があります。ただ土地を作ったからというだけでは、人は来ないとと思います。人を寄せるためのことよりも、その意義だと思います。それがない限り、うわべの人寄せをやつても永続性はしないと思います。



井植 貞雄

<神戸青年会議所理事長>

神戸を見直す機会に

博覧会が、未来の神戸を創造する海上都市ポートアイランドの完成を記念するセレモニーであるなら、それは陽気で明るく底抜けに楽しいものでありたい。神戸まつりに象徴されるように神戸っ子は、楽しく陽気なものをおぼむ。しかし、ただのお祭り騒ぎで終りたくない。砂塵舞う祭りのあとに何んともはかなく、空しいものはない。新しい港島の誕生を機して、神戸経済に活気を与え、市民のくらしがより豊かになり、人々の生きがいとロマンに満ちた願いが街全体にただよう門出にふさわしいセレモニーでありたい。

しかし、博覧会が、神戸市を始めとする主催者の企画立案により準備され、それは県民人々こそって参加して下さいでは、いかに魅力ある海の未来都市と呼びかけても、士気が上がらないのではないか。ポートピア'81は基本理念にもとづく技術面は専門家に委ねるところとなろうが、人間中心の博覧会であり、市民の声そのものを反映し、自分達の手で作り、自分達で盛り上げなくてはならないというムードづくりがこれから必要になってくる。

人々は、日々、自分達のくらしや企業を精一杯守ることに努力し、その余暇とて限られた遊園地で弁当をひろげ、ひとときの安らぎをおぼえ、疲れた足どりで家路につく。近所で何が起らうと、又、知ることもなく過ぎ去り、我がくらしを維持することに明け暮れる。人の交わり、人々の語らいはない。子供たちがこの世を見限り自殺する話題もこの辺で終らせたい。人と人のふれあいから明るい話題もとりもどし、コミュニケーションが生れ、情報交換がなされ、人々の成長と共に、明るく豊かなまちづくりをめざすことができる。

ポートアイランド博覧会がこの時代の活性を促す材料となり、現実をみつめなおし、明日のくらしやまちづくりはどうあるべきかの問い合わせがまちの隅々までいきわたり、市民全体の盛り上がりによってこそ、開催の意義があるようと思われる。

また博覧会の跡地利用の問題もさることながら、殺伐とした、コンテナ埠頭に取り囲まれた住宅の群や、利用度の少ないホテルや、国際会議場が立ち並び、閑散としたショッピング街が居ならぶ、ただの巨大な離島となつてはならない。人々がここに住み、いこい、経済や文化の繁栄と、世界の知識人が集まり情報の拠点となることを望む。

神戸っ子は今まで、神戸の街並を、六甲の山頂から見おろし、親しんできた。海上に出来た人工島から、逆に六甲の山並を背にする神戸という都市を見直し、これからの人間社会を見つめる絶好の機会ともなる。



浜野 安宏

<浜野商品研究所所長>

もう“未来への夢”を描いて何になるのでしょうか。私たちは今、極めて真面目なオルタナティブを作りださなければならぬのです。

ポートピア'81のパンフレットを見た限りでは、万博よりも古くさいものだと思います。あれから少なくとも日本は變ったし、反省もしたし、これからまさに“地方の時代”私なりの言葉でいえば“ニュー・ローカリズム”なのだけれども……

私はかつて“スポーツ・環境博”的日本館に関して委員の一人になったことがあります。あの時でも我々日本人が示したのは“狭さの克服”というテーマであった。いま必要なのは夢ではない。

非常に真面目なオルタナティブ、あるいは代案への真剣な努力である。オルタナティブ

お祭りさわぎで、いつまで時代がかつた博覧会の形式を追いかけようというのか、ファッショントピアよ! 五〇年も以前にパリで開かれた新しい博覧会の形式以上にどこが変わっているというのだ。こんなもので魅力を感じて、人々が全国から、世界からやつてくると思っているのか。

世界ではさまざまな問題が浮き彫りにされている。絶対に目をつぶり、耳をふさいでいる問題がある。ともすればこの地球そのものの問題になりかねないものもある。しかし、巨大な地球の一点である神戸は、地球という全体に対して何ができるのか。より神戸のオリジナルな存在の仕方をさぐりだしてみるべきである。人々は一人一人、地球上に住む生物として何をしなければならないかと、楽しく、しっかりと提言してゆくべきです。

一枚の皿も 一束の野菜も 一匹の魚も…… 一脚のイスも

その一つひとつをしっかりとみつめ、見直すところから、すばらしい明日が開かれるのである。

ポートピア'81は、神戸が人々の“健康”について何ができるかを提示すべきです。いちばん身近な肉体を、みずみずしく、美しく保つていて、ローカル、フィジカル、コンシャスを充足させるあらゆるトレーニングやスポーツ、ゲームなどが…… DO!

いってみればファッショントピアは、ニュー・ライフ・スタイルと同義語になりつつあります。新しいライフ・スタイルについて真面目に考え、楽しく体験させながら提案してゆくべきです。

夢がかつてもいい。これから夢は都市的なものではないのです。古い思考パターンにとらわれ、すでに夢といえなくなつたものにまだ夢を見つづけようとしていては失敗します。

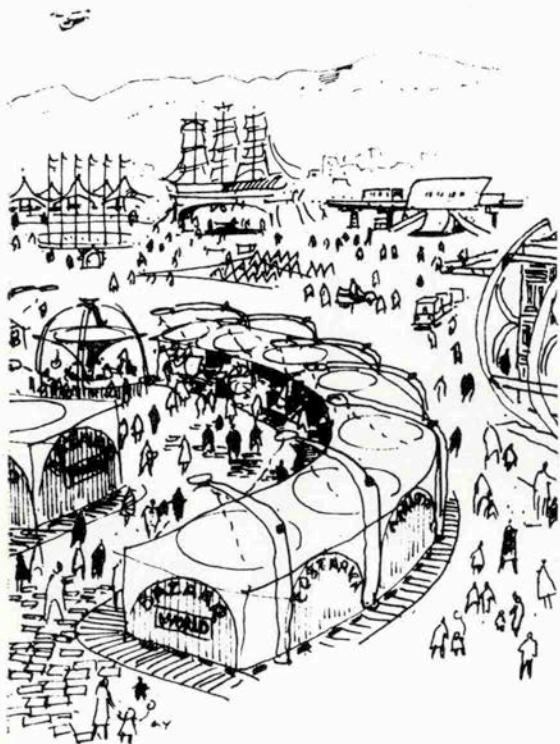
いまのうちに、新しい博覧会スタイルをもつと研究すべきです。



神戸らしいものを

植田 紳爾

<宝塚歌劇団演出家>



いつも思うことなのだが、神戸には神戸独特の文化が伝統的に息づいている。また、その独特の神戸文化を、大切に守り育ててゆこうとする風土もある。

これは神戸に長年住んでみなければ理解出来ないものであるかもしれないが、まったく、神戸の文化は、他の都市と違った独特のものである。

これは、港町として、古くから外国の文化を最も早く自分のものにした、神戸の街の成り立ちに原因があるのかもわからないが、とにかく神戸には神戸にしか生れ得ない文化の息吹きがある。まったく言葉では説明出来ない、肌で感じるとでもいうのか、独特的雰囲気が神戸にはあるのである。

だからこのポートピア'81も、その神戸独特の文化の香りを土台にして、作り上げられるのならば、それで充分だと考える。細かい注文や希望などは押しつけたくはない。排他的と誤解されるかもわからないが、神戸の持つ風土を大切にして、神戸の持つ文化の香りを理解することの出来る人々によつて、このポートピア'81は作り上げて欲しい。

そうでなければ、日本全国、どこでやつても同じような博覧会になってしまふことを怖れるからである。それでは何も神戸でやる必要も、存在価値もないと思うからである。

とにかく、神戸を愛し、神戸の雰囲気を理解出来得る人々によつて運営されるならば、神戸にしか生まれ得ない、独特的博覧会が生まれると信じるからである。



岡田 美代

<神戸文化ホール勤務>

私が生きてきたほんの数十年の間にも、神戸は大きく変貌しつつ発展しています。山を海に移すという思い切った着想を実現化して、地図になかった新しい島がこの神戸の港に生まれるなど、戦火に焼けて瓦礫化した街を歩いていた私の、想像も及ばない「世紀の出来事」でした。それにしても、思えば歳月と資材を投じた大事業であつたと思います。そしてまた、今眼前に拡がるこの巨大な機能をもつ島を、21世紀いやもつと遠い未来への財産として、どのように残し、活かしていくかを考えると、さまで大きな夢が生まれてきます。

「ポートピア'81」。これこそ、未来への橋渡しの出発点。一大シンフォニーのブレイユードということでしよう。私はこの「ポートピア'81」を、できるだけ力強く美しく高らかに響くハーモニーで飾りたいと思います。

▽それには、まずシンボルを……

パリにエッフェル塔が残されたように、ポートアイランドにも永久に残るモニュメントがほしい。モニュメントは建造物や彫刻でなくてもいいのです。淡路の水仙郷や六甲のあじさいのように、季節のくるたびに群れて咲く花の群落でもいい、緑の森でもいいのです。

ポートアイランドの新しい土の上に、しっかりと根をおろしたモニュメントが欲しいと思います。

シンボルは、そうした形あるもののほかに、精神性の高いシンボルも考えてはいかがでしよう。この島を鎮めるとともに、この島に住み、この島を訪れる多くの人々の心のよりどころとなるような……。海の神・港の神を祀る神社を建てて、その境内では、春夏秋冬の祭に賑やかな市がたち、小屋掛芝居なども催される。勿論、ポートピア'81の幕開きは、この社の神に、平和と発展を祈ることからはじめるのです。ここで忘れてはならぬことが一つあります。ポートアイランドの建設は、清盛の経ヶ島築造に次ぐ世紀の大工事であつたことは先に述べましたが、この大工事の発案者であり、創始者である故原口忠次郎氏の顕彰を、ぜひプログラミングしていただきたいのです。原口さんこそ、ポートアイランドを残していくかれた偉大な神戸の先駆者であります。▽つづいて色々なアイデアを……。

期間中、時鐘のかわりに正午・深夜十二時などに、汽笛を鳴らす。(汽笛のハーモニー)。新交通ポートアイランド線の客車ボディに思いきったデザインをして、通過する姿を見るだけでも楽しく明るくなるようにする。(例えば宇宙戦艦ヤマトの向うを張るような)



小林陸一郎

<彫刻家>

ムダな場も文化

私にとって、ほんのちっちゃな夢、ちょっとした人情、街角でゆきぎりの人のまぐれの親切、こんなことが現代人にとって生きてゆく手がかりになつてゐるのでは、時にはふと、そんな風に考へてしまつ。もっと人々にはバイタリティーにあふれ、生きる喜びにあふれ、人生を讃嘆しているのだ、夢をふくらませて未来へ立ち向つてゐるのだ……と考へてみても、孤独な人の心を街角がとらえてくれるだらうか。人の孤独さえもコンピューターに入れて解明されそうな気がする。

荒々しく、無秩序で、そして、静けさがある、そんな場所と時間が、うばわれて行くような気がする。

人々の歴史は壮大なムダを浪費して來た。それは文化と呼ばれた。今は、全てムダなく整理され、システム化されたなかに、文化も組入れられようとしている。街は整備され、住み良くなり、また、おまつりはあくまでおまつりらしくなり、祭りではなくなる。

みんな良かれと考へて、がんばつて、疲れはててしまう。しかし「あなたの考えたことは良かったですよ」なんて、小さな言葉が、また勇気を与え、ひとつの力となつて、システムは進んで行く。いったい個人は、どこへ行けばいいのでしょうか。

神戸には海がある。

海に向つた人は、無力になり、孤独になり、勇気づけられ、馬鹿馬鹿しくなり……。今、神戸は膨大な費用を浪費して島を作つてゐる。現代のムダである、それはまた文化である。せっかく作った文化を、整備された有益なるものだけにしないで欲しい。ポートアイランドにのぞむ私のささやかなのぞみは、海に向かう数百メートル、ささやかながらそのぐらいは草ぼうぼうの道も作らず、建物も建てず、なにも作らない、なにかをしないゾーンを欲しい。海に向つて石ころだらけの、草だらけの、木もない、うめたてのままの数百メートルは、自然の荒々しさを、野性を、そして人の孤独を、心になにかを呼び戻すゾーンにならないだらうか。

有益であることを為すことによつて失われるものの、整備され便利になることによつて失われるもの、整備されるものから生まれるものと、整備されないものから養われるものと、色々考えつづ……。

山と坂道と海と、全てムダなくそろつた神戸、そんななかに、なにもない平地、たんなる平地があつてもいいではないか。

これからの人間がイメージを育てるスペース、つまりは全くムダな場を、お金をかけ作る、それも文化ではないだらうか。
あえてポートピア'81に提案したい。



安藤 忠雄

<建築家>

神戸の街は、さまざまなアメニティをもつ街である。山と海の接近、異国情緒等、街は開放性にあふれ、徒歩圏内での都市展開は、日本では珍らしい、都市生活の実感をうみ、ヒューマンスケールの街を構成する。

として、夢の現実化を目指し続けた。

一八八九年のパリ博は、今、公園とエッフェル塔に、その残像を見ることができる。エッフェル塔は、当時の時代の最先端をゆく鉄骨技術をもって登場し、その偉容は、古都パリにとって、革新的なできごとであった。この年パリでは、もう一つのできことがあった。それは、セーヌ河畔のサンジェルマン地区の開発である。パリ博と地理的に直接的なつながりは無いがこの開発は、新たに街を特徴づけ、蘇生した。街は有名詞をもって語られる。この言葉の背景に、現実の都市があり、街を構成するイメージがある。エッフェル塔を出発点として、シャンゼリゼや、サンミッシェル、サンジェルマン等、都市の骨格を内包する拠点の集積の中に、ファッショントリノのイメージは、連想的に編まれていき、確立していく。エッフェル塔が、パリのシンボルであるのに對し、サンジェルマンの開発は、現実の都市の新たな点の創出であった。こうしたパリにおけるファッショントリノの従事者の数もさることながら、パリに住む人々のファッショントリノへの意志の強さや意識の高さを思う時、今回の“海の文化都市、ポートピア'81”が、単なるシンボルに終ることなく、神戸が從来よりそのキヤツチフレーズにして来た“ファッショントリノ都市”がより深く、神戸に根ざすべく、ファッショントリノの全てを喚起するものでありますと願う。ファッショントリノを支える商工業により一層の発展と共に、ファッショントリノをうみ出す人々の教育、養成、それを着る人々の意識を高めるといった、トータルな意味でのファッショントリノ都市の育成を望む。例え、トアロードをファッショントリートに準備してみれば、ファッショントリノを支えるアトリエ、その関係者の住居や学校など、ファッショントリノ都市のイメージをより強烈にする関連諸機能を集合させ、都市をより活性化する方向にもつていく等、次々に新たな展開を期待する。

神戸の街は、今回の博覧会を契機に、街の変容を始めていくであろう。今までの神戸のイメージを基本としつつも、もう一度、海との新たな関係性をうみ出していく。博覧会は、ともすれば一場の夢として終りがちである。しかし、パリ博が、街に新しい拠点を作つていったように、博覧会のみを自己目的化せず、“ポートピア'81”を契機に、よりマクロな視点に立ち、街の質的な変容、関わる人々の意識の変革へとつながっていくべきであろう。



中央パレードには各国の美女も登場します



大熊 律夫さん



佐野 淚箕さん

★ますます盛ん！ 各区のまつり

大熊律夫

（△神戸まつり実行委員会副委員長）

V.S 佐野漣箕

（△神戸新聞文化事業局長）

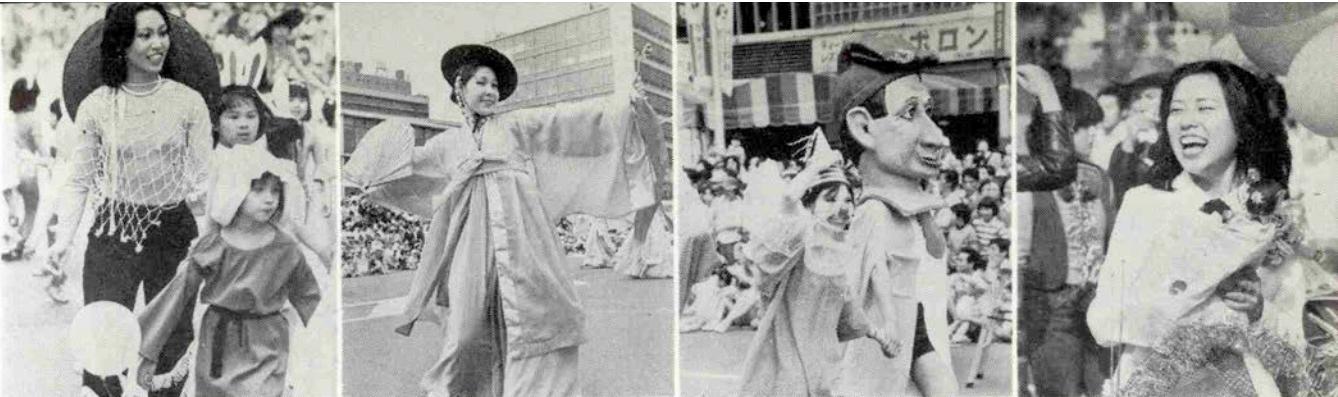
●花と海と太陽の祭典 第9回神戸まつり対談 神戸まつりがやつて来た

定着して來た“市民のまつり”

大熊 当所、神戸まつりは観光としての見せるまつりなのか、市民が参加するまつりなのか、が一つの議論の焦点だったわけですが、これは市民自身のまつりで、見てもらうまつりじゃない、参加することで喜びを味わうまつりとして育てたい、ということから出発しました。

それをどのように育てて行くかが過去の課題であって、昨年の第八回を見ていますと、各区のまつりにずい分たくさん的人が参加して非常に賑つて來たし、また、定着して來た。それは明らかに市民参加のまつりに定着しかけたといふところまで來たのだと思う。

参加するまつりと同時に一方で、一つのセレモニー的に全国に神戸のまつりとはこういうものだ



神戸まつりの楽しみのひとつは、日本はもとより世界各国の美女のあでやかなパレードが見られることです（写真はいずれも昨年のパレードより）

と見せることも必要だ。それが中央祭典であり、中央、ハーレードという形で育っていると思います。

この二つが合わさった形で進んでいるということでは、まつりは全国的にも珍しいのじやないか、と思う。

佐野 その通りですね。市民参加ということでは、過去八回を見て

来まして、いい方向に来たなあという感じがする。それと、市民の手づくりで今日まで来た、ということ

ことは他所のまつりにはない。これも神戸まつりの大きな特色で、

今後もつづけて行くべきでしょう。

他の地域では大体演出に専門家を入れている。いろいろ知恵を

働かせながらやつて行くというこ

とでは神戸市民は仲々いいセンス

をもっています。

実は昨年の実行委員会では、見せるまつりの方へ軌道修正したらどうかという意見が出て來た。といふのは「ポートビア'81」がある

のだから、いい意味の観光的な広がりが欲しいという意見があつた。それと市民参加をうまくミックスしたまつりが今年の行き方で、それが「ポートビア'81」へ向つて燃え上つて行くことでしよう。

それと、参加している人が子供からお年寄りまで全市民の各層だ

大熊 まつりの学問的な専門家（学者）のなかに、まつりとは郷

愁を伴うもの、幾ばくかの哀愁感のあるもの、これが鎮守のまつり式の日本古来の本当のまつりなんだ、これを捨ててしまつたバカさわぎだけではないまつりではないということをいう人がいる。私もそうだと思うが、これは、各区でやつてているまつりに出て来たんですよ。子供が大人になってからも思い出せるいいものを残したい。

中央では、時にはバカさわぎに見えるかも分らないが、神戸独特の国際色豊かな、国籍や老若男女を問わずみんなが参加をしてワーッと盛り上つて行く。

佐野 神戸まつりに村まつり的な郷愁や哀愁を求めるようとするのは無理だと思う。新しいまつりの行き方は、市民参加、手づくりで工夫しながらやつて行つてコミュニティのまつりにするという新しい形。一方、平野の祇園祭ありといふ伝統的なものが残つていて。各区のまつりを含めて神戸まつりは、新しい今世紀のまつりのあり方を一つのサンプルとして打ち出したと思う。そして、どこまで行つても完成しない、絶えず変えて行かないといけない。

大熊 仙台の七夕まつりなど、ある程度パターンの決まってしまつたまつりはそれなりの意味があるけれど、神戸まつりは決まってしまつたパターンを繰り返して行く

のではなく毎年変化が欲しいね。

今年は子供の参加を増やしたい

大熊 「ボートピア'81」は各界あげ

ての大行事でやるわけですから
神戸まつりとしても全面的に協力

するという立場で、今年、来年と
まつりのなかにとり入れて行く。

佐野 昭和五十六年にはボートア

イランドで神戸まつりをぜひやり
たい。神戸まつりも「ボートピア

'81」へ向って行くということです
ね。これが終ったら、あくる年か
らどういうまつりになって行くか
一つの転換期になると思う。

各区のまつりもだんだんと定着
して来て今年は長田区では前々夜
祭をやるそうだ。ただ、各区とも
同じようなスタイルですね。各区
の特色が出て来るともと面白く
なるのですが、そこへんが、こ

れからの課題ですね。

大熊 具体的に市民が関心をもつ

ているのだなあと感じるのはクイ
ーン神戸が各区を訪問するときに
それを見ている人の感じが、以前
は、ああ、キレイなおネエちゃん
が来ているなあと見ている感じだ
ったのが、おととしぐらいから、

ちょっと手を叩こうかという感じ
になつて来た。昨年は、もう、熱
狂的に迎えるようになつた。とい

うのは、昔のミス神戸のように、
美人が選ばれたというのじゃなく
て、自分たちのアイドルだという
感じにだんだんとなつて來たとい
う気がしますね。

佐野 パレードだけでも七十万人
が見に来るというように、神戸市
民の生活のなかで神戸まつりの占
める位置が大きくなつて來ている
年間の神戸市民の生活のリズムの

なかに神戸まつりが入つて來てい
るということですね。

今年の特色は、従来やつて來た
ものの積み重ねの上にさらに国際
児童年ですから子供の参加を呼び
掛けましょうということですね。
パレードの幕開きはいつも民踊を
やるわけですが、真中に子供を人
れて両側に婦人会が並んで、そこ
から始める。そういう演出も考え
てているようです。

大熊 中央パレードを見るときに
お薦めしたいのは、フラワーロー
ドが一番の中心のように思われる
が、実際は大丸付近から京町筋へ
とつづいていますから、そういう
ところでも見ていただきたい。

佐野 今年は特別のゲストは呼ば
ないですが、「ボートピア'81」に向
つて来年は何か入れ、本番のとき
にはもつといろんなものを入れま
しょうということに恐らくなると
思います。

神戸まつりは、新しいまつりの
一つのスタイルとして他の地域で
も真似されている。その一番の家
元であるという自負で、さらに工
夫をこらしてやつて行つて欲しい
ですね。

(ブランドウブランにて)



今年はチビッ子の参加が増えそうです

がき、おりがみコーナー。

□生田区協賛行事

老人クラブ盆栽展（5月中旬）区役所区民口
ビー、老人クラブ輪投げ大会（生田公会堂）
第5回生田区子ども柔道大会（5／5中央
体育館）、第5回区民開幕大会（5／13 総合
福祉センター内中部老人福祉センター）、小
学校児童によるまつりボスター展（区役所区
民ロビー）、写真コンクール。

□兵庫区行事

はつひいひろば

5月19日（土）10：30～21：00
湊川公園（雨天中止）

兵庫区民整潔・安全祈願祭（10：30～11：30）
ドレミのつどい（13：00～14：00）
たそがれミーリング（16：00～18：00）歌
謡ショー、フォーキング、サンバ。
なんといやの夕べ（18：00～21：00）日本太
鼓、郷土芸能、津軽三味線、練習会。
各種コーナー（のみの市、植木、草花市、バ
ザール）なんでもコーナー、幼児コーナー、
夜店。

その他 パレード、横町寄席、写真コンクール（6月中旬）。

□兵庫区協賛行事

日本民謡のつどい、民謡まつり、メトロママ
さん卓球大会。

□北区行事

きたきたまつり

5月19日（土）11：30～19：20
鈴蘭公園（雨天中止）

パレード（11：30～13：00）区役所前→鈴蘭
台駅前→鈴蘭公園

消防広報車、サイドカーティーマーク、先
導車、パントワード、プラスバンド、御殿
かご、仮装行列、子どもっこ、少年野球、
中学野球、少年剣道、少年空手、民踊流し。
オープニングセレモニー（13：00～13：30）

鏡割り（くす玉割り、爆竹鳴らし、有馬太鼓
よい子の広場（13：30～15：00）お兄さんと
いっしょに遊ぼう、子ども民踊、子どもバト
ントワード、ぬいぐるみショー、科学忍者
隊、ガチャマン、落書大会。

みんなの広場（15：00～17：10）漫才、民踊
まつり、クリーン神戸訪問、民謡、民踊、ブ
リンセス神戸訪問、余興おどり、歌謡曲、走れ
ピンクレディー。

出店 うどん、ジュース、食べもの、アイス
クリーミー、緑茶子、金魚すくいなど。
5月19日（土）10：00～20：00
須磨離宮公園（雨天20日に延期）

□北区協賛行事

ヤングハイキング（4／22 柏尾谷）、道場町
民運動会（4／22 道場小学校）、中学生野球
大会（5／3～6／13 鈴蘭公園）、なんでも
市（5／19 鈴蘭公園）、文化作品展（5／19・
20 区内各店舗、植木市（5／19～20 緑の相
談所）、切花・野菜苗即売市（5／19 鈴蘭公
園）、ママさんバレーボール大会（5／22・
24 北区民センター）、祝賀奉仕販売（5／19・
20 区内各店舗、植木市（5／19～20 緑の相
談所）、切花・野菜苗即売市（5／19 鈴蘭公
園）、ママさんバレーボール大会（5／22・
24 北区民センター）、演芸大会（5／26 北公
会堂）。

□長田区行事

ヤングコンサート（長田フェスティバル前々
夜祭）

5月17日（木）17：00～20：00
若松児童公園（雨天中止）

長田フェスティバル前夜祭

5月18日（金）17：00～20：00
若松児童公園（雨天中止）

長田フェスティバル前夜祭

5月19日（土）17：00～20：00
若松公園（雨天中止）

長田区安泰長寿祈願、長田の宮神撫祭（10：
30～11：50 長田神社）

祈願奉事（12：30～13：00）レコード・ふれ
太鼓、オーブニングショー、幼児のつどい、
クイーン神戸訪問、郷土芸能、音楽演奏とバ
トンアーチ、民踊と津軽三味線、民踊絶お
どり、神撫太鼓。

みんなの広場、夜店、植木市、仮顔绘コーナ
、バザール。

みんなのつどい（17：00～20：00）民踊、リ
ズム＆ファイサー。

□長田区協賛行事

映画会（5／5 丸山コミュニティセンター）
西神戸Y.M.C.A.、子供バレーボール大会（4
／29 中央体育高校）、家庭ハーレーボール大会
（5／11 中央体育館）、勤労者ソフトボル
大会（5／27）、ママさん卓球大会（5／29
中央体育館）、老人スポーツ大会（5／24 新
長田勤労市民センター）

天狗まつり、開幕大会（5／13 新長田勤労市
民センター）、魚釣大会（5／13 須磨海岸一
帯）、競泳大会（5／13 高取山）、競泳大会（5
／13 神戸高専グラウンド）、老人作大會（5
／19～20 垂水年金会館1階ロビー）、垂水っ
子まつり（5／20 垂水小学校）

□西神地区行事

西神太陽と緑の祭典

5月19日（土）10：40～15：30
西神屋外中止

屋外ステージ・広場 婦人のおどり、クイ
ン神戸訪問、プラスバンド、のど自慢、子供
みこし、若人の絆音楽、民謡とおどり、奇術
婦人のおどり、婦人おどり、ブリンセス神戸訪問、子供の
おどり、婦人おどりおどり。

屋内催物（一般の部）写真、魚拓、書道、絵
画、盆栽、草花、活け花、手芸、献茶サービ
ス。（小・中・高生徒の部）美術、習字。

屋外催物（植木・花）とうろう、海産物・野
菜の即売、柴焼、屋台、バザー。

□西神地区協賛行事

家庭ハーレーボール大会（5／6 垂水体育館）
中学校体育大会（野球・バレーボール・ソフ
トボール・テニス・卓球）、花バスの訪問と
記念撮影会。

こどもみこしバレー（13：30～14：45）下
中島公園と須磨寺商店街と須磨離宮公園。み
こし約50台参加。

□垂水区行事

のびゆく垂水の祭典

5月19日（土）10：30～17：00
垂水海浜センター（雨天屋外中止）

パレード（10：30～11：30）垂水駅前周辺
駐車場舞台（12：00～17：00）子

チビッ子ショーカ、奇術、漫才、のど自慢、子
供演奏、クイーン神戸訪問、縄踊。

チビッ子広場（11：00～16：00）金魚すくい、
ヨヨー釣り、仮顔绘、植木即売コーナー、
模擬店。

民踊のつどい（11：00～16：00）公会堂
ファミリーステージ（長田フェスティバル前
夜祭）

5月18日（金）17：00～20：00
若松児童公園（雨天中止）

長田フェスティバル前夜祭

5月19日（土）17：00～20：00
若松公園（雨天中止）

演芸大会（5／20 垂水小学校）、音楽広場（5
／19 垂水小学校）、舞子芸能まつり（5／6
舞子小学校、少年野球大会（5／6 13：20～
20 矢元台公園・舞子小学校）、魚釣大会（5
／27 舞子海岸）、ハイキングのつどい（5／27
垂水背後山コマキ）、SOSポート大會（5
／13 神戸高専グラウンド）、老人作大會（5
／19～20 垂水年金会館1階ロビー）、垂水っ
子まつり（5／20 垂水小学校）

"Dixieland is just like my home town"

神戸に立寄ったエトランゼが
ホームタウンを感じる店



ミュージックタイム P.M. 9:00~12:00

ピアノ／中川宗和 バンジョー／川島俊介

サービスディナー￥1,700 P.M. 5:00~8:00

営業時間 P.M. 5:00~12:00

Dixieland

RESTAURANT

〒651 神戸市垂合区磯辺通4丁目7

フラワーロードニューポートホテル北隣

Tel. 078(251) 7277

MAKE UP WITH ROYAL

楽しいまなざし……

軽～いめがね



プラスチックレンズ+フレーム

軽～いめがねをかけたら世界が变了!

おしゃれのポイントはめがねですよ。プラスチックレンズはあなたのお好きな色に染色ができます。
染色後、色を濃く、薄くすることもできます。

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321) 1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391) 1874-5

元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、3水曜日がお休みです